

# くすのき



岡本小学校  
令和2年4月30日  
校長 津田千由美  
No. 2

## くすのきプラン2020

4月7日から再度の臨時休校が始まり、保護者の皆様、地域の皆様には多大なご協力をいただいております。マチコミによるアンケート結果を見ると、多くの子どもたちが健康に留意しながら、規則正しい生活を送っていることがわかりました。多くの皆様の支えに、教職員一同大変感謝しております。

さて、本来であれば、ちょうどこの時期に、PTA 総会そして学年懇談会が開かれる予定でした。令和2年度の学校体制を保護者の皆様と共有する機会がなくなり、この紙面を借りて、お伝えいたします。3つのクイズに答えながら、読み進めていただけると幸いです。

### Q1: 岡本小学校は何歳になるでしょう?

なんと、岡本小学校は今年で145歳を迎えます。明治8年5月に「日向館」という名称で発足しました。これが岡本小学校の始まりです。

正門前の碑文を読むと、戦後は地域の新教育の推進の役割を担い、長きにわたり塚原地域の人材を育ててきたことがわかります。

『くすのきプラン2020』では、「ともだち(仲間)」との関係づくりを基盤に、子どもたちの「こころ」「ちえ」「からだ」を豊かに育てていきます。

### Q2: 「OOOOOO」が車をつくる時代?

答えは「パナソニック」ですが、つまりは家電メーカーが車をつくる時代がくるとも言われています。これは、数十年先の未来社会を象徴的に表す言葉です。「動くリビング?」が誕生するのも間近かもしれません。

小学生の子どもたちが社会にでるころ、今ある職業の5割はなくなると言われています。人間に代わりAIが仕事をこなす時代になるからです。未来社会は予測不可能ですが、どんな社会になっても幸せに生きてもらいたい...そのためには子どもたちにどんな力をつける必要があるでしょう。

今年度から教科書が一斉に、新たな学習指導要領では子どもたちに「学びに向かう力」をつけることをめざしています。『くすのきプラン2020』では、子どもたちにつけたい力を具体的に8つ掲げました(→教育の重点参照)。



### Q3:「学校」を創るのはだれ?

学校教育目標である『夢に向かって未来を拓くおかもとの子』をつくるのは、一体だれでしょう?

筆頭は、もちろん私たち教職員です。でも、教職員の力だけではかきません。子どもたち一人ひとりの力も必要です。保護者の力も必要です。地域の方々の方力も必要です。

『くすのきプラン2020』の実現に向けて、それぞれの立場で、今できることを考え、同じ方向を向いて歩みを進めていきましょう。

## 休校中の学校紹介

今必要なこと・やっておきたいことなどを  
真剣に考え中…(教頭先生によるFF研修)



給食目標の見える化

体育器具庫が使いやすくなりました!

普段なかなか手つかずの職員更衣室が一新

今年度から始まる5・6年生の英語…メリンダ先生と模擬授業中

篤志家の方から市内小中学校の児童・生徒に対してマスクの寄付(一人あたり3枚)がありました。寄付者の希望により、各ご家庭に配布いたしますので、ご活用ください。

南足柄市教育委員会教育総務課より

### ひとりごと

くすのきの葉っぱが、今盛んに生え変わっています。いつもなら高学年の子どもたち中心にボランティアで掃き掃除をしてくれるのですが、今年は肝心の子どもたちがいません。  
見かねた教務主任が、シルバー人材センターから落ち葉掃除機を借りてきてくれました。機械の力は絶大、短時間であっという間に数袋分の落ち葉を集めることができました。  
集まった落ち葉をゴミ袋につめていると、通りがかりのご老人に声をかけられました。  
「この落ち葉は、捨ててしまうのですか? くすのきの葉っぱは、とても良い腐葉土になるのですよ。」  
と。聞くと、この方は、無農薬の野菜を購入するために、毎週小田原から自転車でJAまで来られるそうです。  
御年87歳! とても元気です。  
「無農薬の野菜には、時々虫もいる。虫も食べるくらいだから、人間にとっても体にいいんだよ。」  
ふと、絵本「葉っぱのフレディ」の中にある一節を思い出しました。  
「僕たち(枯れ葉)も”生命”の一部なんだよ」  
新型コロナウイルスの猛威はいつ収束するのやら、先行きはわかりませんが、でも、私たち大人は、子どもたちに安全な未来を引き継ぐ大きな責任があります。くすのきの若葉のように、元気いっぱいの子もたちが早く戻れるよう、肅々と準備を整えてまいります。